



今日のトピック 中国の7月の主要経済指標は予想を下回る
コロナ感染再拡大で持ち直しペースが鈍化

ポイント1 7月の主要指標は軒並み
前月から減速

- 中国国家统计局は15日、7月の主要経済指標を発表しました。主要指標は軒並み市場予想を下回り、前月から減速しました。
- 7月の鉱工業生産は前年同月比 +3.8%となり、6月の同 +3.9%から伸びが鈍化しました。7月の小売売上高も前年同月比 +2.7%と、6月の同 +3.1%から減速しました。また、1~7月の固定資産投資も前年同期比 +5.7%と、1~6月の同 +6.1%から減速しました。
- 7月は新型コロナウイルスが再び流行した他、不動産市場の不調が続く、持ち直していた中国経済の回復ペースが鈍化しました。

ポイント2 中国人民銀行は利下げ

- 中国人民銀行は15日、市中銀行に1年間の資金を供給する中期貸出ファシリティ（MLF）などの主要金利を引き下げました。1年物MLFの利下げは今年1月以来で、0.1%引き下げて、2.75%としました。
- 新型コロナウイルス感染対策のゼロコロナ政策や不動産市況低迷により影響を受ける経済に対し、金融面からの支援を強化しました。

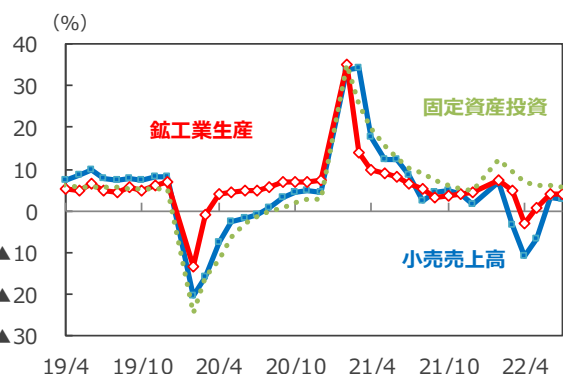
今後の展開 中国の経済見通しを下方修正

- 7月の主要経済指標は、コロナ感染再拡大による移動制限の他、長引く不動産市場の不調を受けて、中国経済の持ち直しペースが鈍化していることを示しました。今後もこれらの要因によって、企業や家計のセンチメントが悪化し、中国経済の足かせとなりそうです。弊社は、経済成長率見通しを2022年 +3.5%、2023年 +5.0%に下方修正しました。

ここもチェック! 2022年7月19日 中国の4-6月期GDPはゼロ成長
2022年6月17日 米国株が調整するなか、中国株が上昇

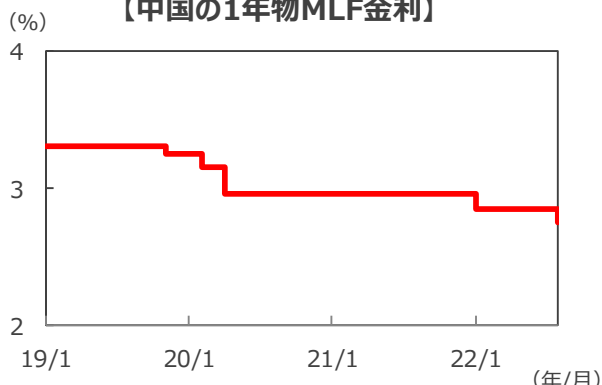
■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【鉱工業生産、小売売上高、固定資産投資】



(注1) データは2019年4月～2022年7月。
(注2) 固定資産投資は年初来の前年同期比。鉱工業生産、小売売上高は前年同月比（各年2月は年初来の前年同期比）。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【中国の1年物MLF金利】



(注) データは2019年1月1日～2022年8月15日。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成